

G.省エネ設備

入力する数値に関しては、必要に応じて計算ファイル内で表示されている小数点の位まで入力することとし、それ以下の小数点については四捨五入することとする。

事業者名 **医療法人 ○○**

事業による導入量

設置場所 **△△県 ○○市 丸の内1-1**

区分 **新設** 施設の新設、または設備の入れ替えではない場合は「新設」、機器・システムの入替の場合は「入れ替え」を選択してください。

従来機器・システム名称 **（空白欄）** 導入する機器・システムおよび、その比較対象とする従来の機器・システムの名称を記載してください。 ※ 施設の新設、または機器・システムの入替ではない場合は、記載する必要ありません。機器・システムが複数ある場合は、計算ファイルを複数に分けてください。

導入する機器・システム名称 **廃熱回収圧縮機**

導入量 **1** 単位 **台** 記入してください(その他の場合)

補助対象となる機器・システムの「導入量」を記入し、横のセルに「単位」をプルダウンから選択してください。単位の回答は選択式となっておりますが、選択項目に適切な単位がない場合、「その他」を選択し、右側の入力欄に手入力で単位を記入してください。

法定耐用年数 **15** [年] **法定耐用年数を記入**

国税庁が発表している耐用年数表を参考にして、法定耐用年数を整数で記入してください。不明である場合は、想定使用年数を記入し、右の選択肢において「想定使用年数を記入」を選択してください。

導入量当たりのCO2削減量(GO2削減原単位)

事業開始前のベースラインとなる年間エネルギー消費量を記載してください。

エネルギー種別	年間エネルギー消費量			排出係数		年間CO2削減量		年間CO2削減原単位		
	導入前	導入後	単位							
商用電力	0	178,505	kWh/年	0.579	kgCO2/kWh	-103354	kgCO2/年	#####	kgCO2/年/台	
都市ガス	0.00	0.00	Nm ³ /年	2.23	kgCO2/Nm ³	0	kgCO2/年	0.0	kgCO2/年/台	
一般炭	0.00	0.00	kg/年	2.33	kgCO2/kg	0	kgCO2/年	0.0	kgCO2/年/台	
LPG(重量ベース)	0.00	0.00	kg/年	3.00	kgCO2/kg	0	kgCO2/年	0.0	kgCO2/年/台	
LPG(体積ベース)	0.00	0.00	m ³ /年	6.55	kgCO2/m ³	0	kgCO2/年	0.0	kgCO2/年/台	
LNG	0.00	0.00	kg/年	2.70	kgCO2/kg	0	kgCO2/年	0.0	kgCO2/年/台	
灯油	81,426.00	0.00	L/年	2.49	kgCO2/L	202751	kgCO2/年	#####	kgCO2/年/台	
A重油	0.00	0.00	L/年	2.71	kgCO2/L	0	kgCO2/年	0.0	kgCO2/年/台	
C重油	0.00	0.00	L/年	3.00	kgCO2/L	0	kgCO2/年	0.0	kgCO2/年/台	
ガソリン	0.00	0.00	L/年	2.32	kgCO2/L	0	kgCO2/年	0.0	kgCO2/年/台	
軽油	0.00	0.00	L/年	2.58	kgCO2/L	0	kgCO2/年	0.0	kgCO2/年/台	
ジェット燃料	0.00	0.00	L/年	2.46	kgCO2/L	0	kgCO2/年	0.0	kgCO2/年/台	
水素	0.00	0.00	Nm ³ /年	0.00	kgCO2/Nm ³	0	kgCO2/年	0.0	kgCO2/年/台	
その他1	0.00	0.00	●/年	0.00	kgCO2/●	0	kgCO2/年	0.0	kgCO2/年/台	
その他2	0.00	0.00	■/年	0.00	kgCO2/■	0	kgCO2/年	0.0	kgCO2/年/台	
削減原単位[kgCO2/年/台]									99,396.3	kgCO2/年/台

所定のエネルギー種別以外のエネルギーを使用する場合は、その他の項目にエネルギー種の名称を記載し、導入前後の年間エネルギー消費量と排出係数を記入してください。水素については、初期値は0としていますが、可能な範囲でライフサイクルでの排出係数を記入してください。

【設定根拠】

稼働負荷・活動量 **温水運転時間：年間3455時間、給湯運転時間：年間2008時間**

稼働負荷・活動量の設定根拠 **施設が必要とする給湯負荷量及び温水負荷量を、ヒートポンプの能力で除した値を運転時間とした**

導入前後における機器・システムの業務負荷・活動量(稼働時間、稼働率等)と設定根拠を記載してください。

導入前の年間エネルギー消費量の算出方法を「従来設備・施設の実測データ」、「従来設備・施設の性能より推計」、「仮設備(現在の平均的な販売設備)の性能より推計」より選択してください。なお、施設全体の電力量から按分している場合、「従来設備・施設の実測データ」を選択してください。

設備	エネルギー消費量の算出方法	性能	性能値の設定根拠・引用元
従来設備	従来設備・施設の性能より推計	温熱源をボイラー、冷熱源を吸収式冷凍機と仮想定し、効率はおもに80%とした	従来機器・システムの性能とエネルギー消費量の設定根拠・引用元を記載してください。「エネルギー消費量の算出方法」において、「従来設備・施設の実測データ」を選択した場合、「エネルギー消費量の設定根拠・引用元」を記載する必要はありません。
導入設備	導入計画の機器性能は、給湯時で4.4 温水時で3.04とした	仕様書より	導入後の機器・システムの性能とエネルギー消費量の設定根拠を記載してください。

結果(CO2削減効果)

年間CO2削減量	99,396	[kgCO2/年]	＝	年間CO2削減量	99.40	[tCO2/年]
累計CO2削減量	1,490,945	[kgCO2]	＝	累計CO2削減量	1,490.95	[tCO2]

事務局確認用

従来のエネルギー消費量の算出方法 **従来設備・施設の性能より推計**

法定耐用年数 **15年** **法定耐用年数を記入**

区分 **新設**